



Naoyuki Koyama

株式会社プランテック
代表取締役社長 小山 直行

用地取得、建築、将来的な事業収支まで コンサルティングを行う設計事務所

コンサルティング業務を行う設計事務所として成長を続ける株式会社プランテック。
独自の事業内容について、代表取締役社長の小山 直行氏が語った。

**建築が本来の目的ではない
専門見地から取りやめる提案も**

一般的に、企業の経営者は建築についてあまり詳しくないのが実状だ。一方で企業がアセットに投資をする場合には莫大な金額がかかる。既存の建物を使えないのか、建築コストを抑えられないのか、最善の選択ができていないのかなどの課題に対して、建築の専門家による知見からコンサルティング業務を行っている設計事務所が、株式会社プランテックだ。

「例えば、オフィスビル改築は、何人収容できる環境が必要かを念頭に計画することが多いのですが、本当の目的はこれとは別というケースもあります。既存の建物を利用したり、新築でも収容人員の積算を熟考することが望ましい場合も多いです」(小山氏)

コンサルティングによって、建築を見直すよう提案することもあるという。

「莫大な金額を伴う投資ですから、既存の建物を使うことをご提案するケースもあります。例えば、製薬企業が大阪の郊外に世界トップレベルの研究施設を作るといふ計画に、土地の選定からやり直すことを提案しました。最終的には研究者や家族の居住環境、子どもの教育環境なども考慮し、神奈川県湘南地区に研究所を新設しました」(小山氏)

企業はどうしても新しいものを作ることを目的に捉えがちだが、建築やマーケティング分野など、客観的な視点から当社が企業の専門分野を分析したときに、企業側が気付くことも多いという。

耐震基準を満たすためのホテルのリニューアル計画では、耐震判断の解析方法を見直すことで、建て替えずに耐震補強で基準をクリアできたという。浮いたコストを内装費に充てグレードを上げ、宿泊事業を中断することなくリニューアルできたことから、高く評価された。

オフィスにするなど、用途を変えて使い続けることで、サステナブルな建築を実現している。また、同社はITを活用し、空想の世界ではなく、建築士によってリアルさを追求した実現可能なバーチャルモデルも手がけている。

同社はさまざまな専門能力を持った人材を求めている。

「当社は社員が自由な発想で力を発揮できる場を提供し、『当たり前』のことも当たり前にする。当たり前でないことも当たり前にする』をミッションに掲げています。これには常に新しいものにチャレンジしようという思いが込められています。また、'Respect Others'、'Be Professional'、'Grow Together'の3つをコアバリューに定めて価値観を共有し、大切にしています。当社には定年制度がなく、長年培った力を存分に発揮できます。また、地方から東京や海外、専門の建築分野から他の領域などに活躍の場を広げたい方も歓迎します」(小山氏)

同社は今後、リニューアルビルでの環境問題へのチャレンジ、新素材の活用、宇宙における建築も視野に事業を展開していく方針だ。

一次エネルギーの収支ゼロを目指す 自由に力を発揮できる就業環境

建築コストは多少アップしたが、物流効率の向上、隣地の賃借コスト削減など、長期的にはコストを抑えることができたという。これを実現に導いたのが、同社のソリューション力だと言えるだろう。

「当社は課題解決だけでなく、業務効率の向上、働き方改革などさまざまなソリューションをご提供しています」(小山氏)

同社は環境への配慮として、「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」を提唱している。「もちろん、エネルギーがまったくゼロになるわけではありませんが、地下水の温度、太陽光など自然エネルギーを活用することで、新たなエネルギーを使うことなく、実質ゼロを目指す思想です。例えば製造業の本社工場ビルでは、さまざまな工夫により既存のエネルギー消費の96.3%を削減できました」(小山氏)

建物には歴史的な価値を持つものも多く、その保存と景観の維持、周辺との調和も重要だ。

「当社は貴重な建物を長期にわたって使い続けられる社会ストックと位置づけています。古い建物をそのまま残すだけではなく、新たな付加価値を持たせることにもチャレンジしています」(小山氏)

既存の建物を活用するのはもちろん、古い倉庫を

企業が本業の発展を持続する ソリューション提案を推進

「建て替えて操業を止めることは企業にとって大きなダメージとなります。それならば建築に多少コストがかかっても、工夫して操業を維持するよう提案しています」(小山氏)

同社は用地の取得から建築、将来的な事業収支まで一貫通貫の提案を実現しており、企業が納得し、最終的な判断を経てから設計に着手するという。

同社は企業の本線に立ち、建物はあくまで本業の事業を進展させるための手段だと捉えている。

「一般的に設計事務所は建物を作品と呼びますが、当社はソリューションだと考えています。経営上の課題を解決させるため、専門領域を持つ企業と、建築のプロである当社がディスカッションを重ね、新しいソリューションを生み出しています。新たな事業を始める企業に対しては、ロゴやパンフレットのデザイン、ビル1階のサインージ、Web上の映像コンテンツまで手がけています」(小山氏)

同社は企業やその取引先も交えて意向を汲み取り、提携する専門企業によるソリューションを提案する。企業が本来の目的を達成することが、同社の役割だ。

「物流企業の配送センターを手がけた案件では、当初、一般的な4階建ての建物を想定していましたが、しかし、通勤する従業員の駐車場を十分に確保できず、隣接する土地を賃借する計画でした。当社は上下の移動を少なくするため3階建てにすることで効率を上げ、建物の面積を広げオーバークラウドすることで天候に左右されることなく入出荷を可能にしました。床面積を広げることなく確保できたのです」(小山氏)



既存エネルギー消費の96.3%を削減 (テラル本社事務所棟)



重要文化財である既存建物を活かした再開発事業 (日本橋二丁目地区第一種市街地再開発事業)

BS12 トゥエルビ
BS12 TwellV [全国放送]

3月27日(日)
18:30~放送

サンテレビ

サンテレビ [兵庫県・大阪府全域]
3月28日(月)
22:00~放送

一人の思いが世界を変える。
https://kenja.jp/

賢者の選択

Webサイトでも視聴できます

企画/矢動丸プロジェクト

株式会社プランテック

[本社] 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル6F [電話] 03-3237-6857 [HP] https://plantec.co.jp

- 創業: 1985年
- 代表者: 代表取締役社長 小山 直行
- 事業内容: 都市計画に関するコンサルティング業務。一般建築の設計監理業務。プロジェクトマネジメントに関する業務。コンストラクションマネジメントに関する業務。ファシリティマネジメントに関する業務。インテリアコーディネートに関する業務。ファシリティに関するコンサルティング業務。建築の材料、室内装飾品、家具照明器具、厨房器具の輸出入及び販売。不動産の売買、賃貸借、仲介及び管理。デジタルコンテンツの企画、開発、デザイン、制作、運営及び管理業務。イベント及び展示会の企画及び運営業務。